

二〇一〇年元旦

闘春

れんごう中越地協



第664号 2010.1.1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円



新春にあたり  
連合中越地域協議会  
議長 矢島 良彦

平成二十二年、寅年の新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。連合中越に結集する組合員とご家族の皆様、そして、日頃よりご指導・ご鞭撻を賜っております各関係機関・各団体の皆様は新年のご挨拶を申し上げます。

まずは、昨年の総選挙におきまして連合推薦候補者の当選に邁進して頂きました組合員の皆様にご心より感謝を申し上げます。そして、悲願の政権交代を果たすことが出来ました。多くの国民が、あらゆる面で行き詰まった政治に変化を求められ、それが民主党への大きな期待としてあらわれたのだと思います。

この新しい政権が、戦後長く続いてきた政・官・業の癒着構造を操作してきた官僚内閣制とよばれている体制を打破し、真の議院内閣制を打ちたててくれることを期待しています。また、雇用・労働政策、国民生活に視点をあてたセーフティネットの実施にも期待するところであり、連合も政権与党を応援する団体として、責任ある政策提言を行わなければなりません。

いま政治・経済・社会の分野で九〇年代から猛威を振るった市場原理主義が引き起こした旧来システムの破壊と新しいパラダイムシフト(発想の転換)に向けての創造がうめき声をあげ、不安と希望が交錯した中にいます。

情報の高度化、グローバル化の進展、地球温暖化、世界では人口増、日本では少子高齢化による人口減少などの現象は、直接、間接的に組合員の働き方や生き方に影響を及ぼします。このような諸問題は、現在の企業別労使だけの取り組みでは、解決が厳しいものです。労働組合は従来以上に社会活動に積極的に参加し、広く社会に目を向け、公正な社会づくりの活動により力を入れていく必要があります。

そういう意味で本年行われる参議院選挙においても、連合推薦の比例候補者の当選に向けそれぞれの産別で心合わせをし、戦ってまいりましょう。

さて、二〇一〇年は、雇用対策が組合に課せられた大きな課題でもありますが、そんな中で二〇一〇春闘は従来の賃金改善への着目が大きく見直される闘いとなるでしょう。「賃金を上げなければ経済は良くならない」という考えは踏襲しつつ中小零細の賃金カーブ維持を最大の焦点として闘うことは、いささかの矛盾もありません。産別方針を踏まえ、構成組織の奮闘を期待申し上げます。

そして、連合中越は「すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう」をスローガンに据え、ライフサポートセンターの稼働三年目を迎えます。地域の生活者の拠りどころとなることに力点を置くスロップの年となることでしょう。この事業が連合のめざす「見える運動、共感される運動」へさらなる前進をとげる大きな行動の一つです。今年もこの事業の推進に力を注いでまいります。

最後に、本年も変わらぬご指導を賜りますようお願いし、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

あけまして  
おめでとーうございませす



- |      |       |          |
|------|-------|----------|
| 議長   | 矢島 良彦 | UIゼンセン同盟 |
| 副議長  | 横澤 勝之 | 自治労      |
| 副議長  | 羽賀 実  | JAM新潟    |
| 副議長  | 小川 正巳 | 電機連合     |
| 副議長  | 金内 孝永 | JP労組     |
| 事務局長 | 斎藤 良  | 電力総連     |
| 事務次長 | 小林 守  | 情報労連     |
|      | 今井 泰輔 | 日教組      |
|      | 関 昌行  | 自治労      |
|      | 遠藤 一男 | UIゼンセン同盟 |
|      | 斉藤 彰浩 | JAM新潟    |
|      | 伊丹 信夫 | 交通労連     |
|      | 大橋 正男 | ヘルスケア協   |
|      | 二階堂貴裕 | 自動車総連    |
|      | 小熊 正実 | JR総連     |
|      | 久保 武男 | 日教組      |
|      | 皆川 清市 | 情報労連     |
|      | 小林 一  | 運輸労連     |
|      | 藤澤 和浩 | 私鉄総連     |
|      | 今井 稔  | 基幹労連     |
|      | 阿部 公輝 | JEC連合    |
|      | 太刀川直樹 | 全水道      |
|      | 富岡 幹雄 | 見附支部     |
|      | 坂井 益雄 | 栃尾支部     |
|      | 平石 正行 | 小千谷支部    |
|      | 森山 強  | 北魚沼支部    |
|      | 笛田 由治 | 南魚沼支部    |
|      | 山口耕一郎 | 十日町支部    |
|      | 前田 紘志 | SJネット    |
|      | 齋藤 亮  | SJネット    |
|      | 山村 敏文 | フード連合    |
|      | 片桐 真治 | 紙パ連合     |
|      | 丸山 真治 | 事務局長     |
|      | 川上 正子 | 事務局      |
|      | 金内 咲子 | 事務局      |
|      | 池田 紀子 | 事務局(古町)  |



## さらなる飛躍に向けて

長岡市長  
森 民夫

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

新しい政権が誕生し初めての新年を迎えます。鳩山政権は、住民に一番身近な基礎自治体を重視した地域主権を明確に掲げており、国政の大きなうねりのなかで、市町村が果たす役割と期待が今までになく大きくなってきています。

この地方分権時代を見据え、長岡市はさらなる飛躍に向け、40万人都市をめざして「前より前へ！長岡」を合言葉に、中越の中心都市として、圏域全体の発展のために力強く歩みを進めてまいります。その着実な一歩として、今年3月には川口町と合併し、地域が輝く共存共栄のまちづくりに向け邁進します。

藩政時代から続く官民の垣根の低さに代表される「市民協働」の伝統。その象徴が、平成23年の完成に向け着工したシティホールプラザ「アオーレ長岡」。屋根付き広場・アリーナ・市庁舎が一体となった市民協働の中心として、長岡市民28万人の心の拠り所となる施設です。また、防災シビックコア地区では、「市消防本部庁舎」、「子育ての駅」や「市民防災公園」が完成し、国の機関が集まる「長岡地方合同庁舎(本館)」の整備も進み、民間事業の大手通中央地区と併せ「まちなか再開発」が本格化します。

長岡モデルはこれだけにとどまりません。環境との共生をテーマにした新たな産業集積拠点「西部丘陵東地区」は、いよいよ第1期の予約分譲を開始。首都圏と日本海のゲートウェイ新潟港を結び、経済成長著しいロシアや中国、韓国につながる産業拠点として期待が高まります。

「創造的復興」に向けても、都市と農村交流を進める「中越・山の暮らし大学校」が開校するなど“長岡独自の花”が実を結びます。全国の皆さんからいただいた元気と交流の絆が、新たな活動への原動力です。

度重なる災害を乗り越えた「市民力」、合併した各地域が相互に高めあう「地域力」、長岡のまちを共に発展させようという「市民協働の力」。この三本の力が長岡市のまちづくりの強みです。この強みを生かし、これからも、全国に誇れる「長岡モデル」のまちづくりに、市民とともに取り組んでまいります。

新春にあたり、市政に対する一層のご理解とご協力をお願いするとともに、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



## 新年のごあいさつ

見附市長  
久住 時男

新春を迎え謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、NHK大河ドラマ「天地人」、夏の高校野球での日本文理高校の活躍と、何かと新潟県に注目が集まりました。また、トキメキ新潟国体とトキメキ新潟大会は大いに盛り上がり、市内でも国体の軟式野球競技が行われました。多くの市民ボランティアに支えられながら、観戦に訪れる人、選手団、応援団を迎えることができたことは忘れられない喜びです。そんな中、「みつけイングリッシュガーデン」が開園し、インターネット

ショッピングモール「新潟県ど真ん中市場 どまいち」をオープンできたことは、市民の皆様にとって明るい話題となり、見附市の存在や魅力をアピールできた出来事になったのではとっております。

みつけイングリッシュガーデンは、6月のオープンから11月末までに、5万6千人もの来園者がありました。市内の人はもちろん、市外から訪れる人も多く聞いております。

また、この公園は、市民ボランティア団体「ナチュラルガーデンクラブ」が花のメンテナンス作業を行っており、市民に支えられるガーデンとなっております。クラブの皆さんは、ガーデンを自分の庭のように親しみ、仲間との会話を楽しみながらいきいきと作業をしていらっしゃいます。その姿はまさに、市民との協働のまちづくりの理想的な姿であるように思えます。みつけイングリッシュガーデンは、そういった意味でも特に大切にしたい、また、元気な見附の象徴として外に発信していきたい見附の魅力の一つだと考えております。

一方「どまいち」は、市内の自慢の品々を全国にお届けする仕組みです。現在、県外の見附さば一たの方々にもお手伝いいただき、利用者増を図っているところです。見附の品物を通じて、首都圏などに住む人にふるさと見附に愛着を持ってもらいたい。そんな架け橋になるものと考えております。

さて国政においては、変化を求める国民の声に後押しされ、民主党に政権が移りました。新政権にはぜひ、党のマニフェストで掲げた「地域主権」を進めてもらうことを望んでいます。そして、われわれ地方自治体も今までのやり方に固執することなく、変化に挑戦していく姿勢をもつ必要があるのではと感じております。

本年も、市民の皆さんとの信頼関係を大切に、誰もが愛着と誇りを持てるまちづくりに、時に大胆な施策で挑んでいきたいと考えております。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、実り多い年となりますよう、心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

ZENROSAI NEWS

火災、自然災害、盗難まで。住まいと家財を守ります。

**自然災害保障付  
火災共済**

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

お問い合わせ・資料請求

**総合生協中越支局 0258-32-2753**

**総合生協 全労済** 新潟県では総合生協が全労済から業務を受託して実施しています。

新潟県総合生活協同組合 全国労働者共済生活協同組合連合会

1509B25

新年明けましておめでとうございます。

ろうきんは、働く人たちとその家族の生活と福祉向上を目指し、様々なローンの取扱をしています。

それが(ろうきん)の使命だからです。

それが(ろうきん)の使命だからです。働く人たちの生活と福祉向上を目指し、様々なローンの取扱をしています。

〈ろうきん〉は雇用と所得環境の悪化にともない、離職された方、家計収入が減少した方の生活を支援します。

**利用中のローン返済でお困りの方はぜひご相談ください。**

長岡支店 TEL0258-33-6318 長岡北支店 TEL0258-34-5010